

製品名:	炭化珪素粉末 (SILICON CARBIDE POWDER)	ページ数:	1/8
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0057	安全データシート整理番号:	JP-JA/18.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名: 炭化珪素粉末 (SILICON CARBIDE POWDER)
カタログ番号 40701005, 40701006, 40701007, 40701008, 40701009, 40701010, 40701021, 40701022

CAS番号 409-21-2

EC 番号: 206-991-8

"官報公示整理番号" / "化審法番号": -

容器サイズ: 300; 500 g

推奨用途及び使用上の制限

用途: 鉱物試料標本の研磨剤。

使用上の制限: 使用してはならないとされる用途は特にない。 (*)

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者: ストルアス社 (Struers ApS)
Pederstrupvej 84
DK-2750 Ballerup
Tel: +45 44 600 800

国内供給者: 株式会社ストルアス
〒141-0022 東京都品川区東五反田3-14-13
高輪ミュージビル1F
ソリューションセンター
Tel: 03-5488-6207
Fax: 03-5793-1081

安全性データシートのオーサリングを担当。 安全性データシートのオーサリングを担当。 DHI
この安全性データシートの内容に対する質問の宛先はこちら :
struers@struers.dk

緊急連絡電話番号

公益財団法人 日本中毒情報センター (JPIC): 大阪中毒110番 (365日 24時間対応) 072-727-2499, つくば中毒110番 (365日 9時~21時対応) 029-852-9999.

03-5488-6207 (株式会社ストルアス)
(営業時間のみ)

安全データシート

製品名:	炭化珪素粉末 (SILICON CARBIDE POWDER)	ページ数:	2/8
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0057	安全データシート整理番号:	JP-JA/18.0

2. 危険有害性の要約

化学品の分類

JIS Z 7253:2012に基づき分類:
製品は分類されていない。

ラベル要素

本物質・混合物は分類基準に合致しないが、次のラベル表示をしなければならない。

内容物: 炭化ケイ素

他の危険有害性

粉塵は、目及び呼吸系を刺激することがある。

PBT/vPvB: 現在のEUの基準により、PBT/vPvB に分類されていない。

3. 組成及び成分情報

化学物質

本製品は下記を含む：研磨剤。

JIS Z 7253:2012に基づき分類:

%:	CAS番号	EC 番号:	"官報公示整理 番号" / "化審 法番号":	化学名:	危険有害性 ID	注:
99.5-100	409-21-2	206-991-8	1-174	炭化ケイ素	-	

4. 応急措置

応急措置の説明

吸入: 塵埃が発生する作業中に不快感を感じた場合：新鮮な空気のある場所に移し、安静を保つ。

皮膚への接着: 石鹼と水で皮膚を洗う。

眼に入った場合: 粉塵発生作業中に刺激が発生した場合は、大量の水で最高15分間洗い流す。

経口摂取: 直ちに口をすすぎ、大量の水を飲む。被災者を観察下に置く。意識を喪失した場合は、これらの指示を持参して病院に搬送する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状 / 影響: 健康に関する影響と症状の詳細については項目11を参照してください。

医師に対する特別な注意事項

医学的措置 / 治療: 症状を治療する。

安全データシート

製品名:	炭化珪素粉末 (SILICON CARBIDE POWDER)	ページ数:	3/8
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0057	安全データシート整理 番号:	JP-JA/18.0

5. 火災時の措置

消火剤

消火剤: 周辺物質に適切な火災消火剤を使用する。水噴射は火災を広げることになるため、消火器として使用してはならない。

火災時の特有の危険有害性

特殊な危険有害性: 火災時には、毒性ガスが生成されることがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者の保護具: 消火時の呼吸保護の選択: 職場で指定された一般的火災対策に従う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急社員用: 皮膚及び目への接触を避ける。粉塵の吸入を避ける。保護措置に関しては項目 8 を参照。

緊急対応要員用: 推奨事項は特にない。保護措置に関しては項目 8 を参照。

環境に対する注意事項

環境対策: 環境への放出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法: 水で漏洩物を湿らせる。漏洩物はシャベル、箒などで収集する。

その他の節の参照

参考資料: 保護措置に関しては項目 8 を参照。廃棄物処理に関しては項目 13 を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全な取扱いに関する勧告: 皮膚及び目への接触を避ける。粉塵吸入を避ける。化学物質の適切な取扱いと衛生習慣を守る。

技術的措置: 塵埃の拡散を避ける。作業時は、接触を最小限に抑えなければならない。

技術対策: 局所排気を推奨する。

保管

安全な貯蔵に関する技術的措置: 特別な注意事項なし

貯蔵状態: 密閉した元の容器で、乾燥した場所に貯蔵する。

具体的な最終用途

具体的な用途: 使用可能な情報はない。

安全データシート

製品名:	炭化珪素粉末 (SILICON CARBIDE POWDER)	ページ数:	4/8
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0057	安全データシート整理番号:	JP-JA/18.0

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

職業暴露限界:

CAS番号	化学名:	下 記の状 態とし て:	暴露限界:	タイプ:	注:	リファレン ス:
-	その他の無機および有機粉塵 (吸入性粉塵)	-	2 mg/m3	-	-	JSOH
-	その他の無機および有機粉塵 (総粉塵)	-	8 mg/m3	-	-	JSOH

設備対策

<u>設備対策を:</u>	適正な換気を供給する。職業暴露限界を守り、粉塵吸入リスクを最小化する。局所排気を推奨する。
<u>人体の保護:</u>	個人用保護具は、各国の関連規格に準拠し、個人用保護具供給者と相談して選定しなくてはならない。
<u>呼吸用保護具:</u>	粉塵発生作業中: タイプ P2 の粒子フィルター付き呼吸装置を使用する。
<u>手の保護具:</u>	接触のリスク: 保護手袋を着用する。ニトリル製手袋を推奨する。手袋材料の浸透時間について情報を提供できる手袋供給者と協力し、最適な手袋を選ばなければならない。 (*)
<u>眼の保護具:</u>	接触のリスク: ゴーグル/顔面シールドを着用する。
<u>皮膚及び身体の保護具:</u>	特別な対策はない。
<u>環境暴露管理:</u>	該当なし。

安全データシート

製品名:	炭化珪素粉末 (SILICON CARBIDE POWDER)	ページ数:	5/8
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0057	安全データシート整理番号:	JP-JA/18.0

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理化学的特性に関する情報

形態:	粉末。
色:	ブラック
臭い:	無臭
臭気閾値:	該当なし。
pH:	該当なし。
融点:	該当なし。
沸点:	該当なし。
引火点:	該当なし。
蒸発速度:	該当なし。
可燃性 (固体、気体):	該当なし。
爆発性:	該当なし。
蒸気圧:	該当なし。
蒸気密度:	該当なし。
比重:	1,1-1,54
溶解性:	非水溶性
分配係数 (n-オクタノール/水):	該当なし。
自然発火温度 (°C):	該当なし。
分解温度 (°C):	該当なし。
粘度:	該当なし。
爆発性:	該当なし。
酸化特性:	該当なし。

その他のデータ

他のデータ:	揮発性有機化合物 (VOC) : 0 g/l
--------	------------------------

安全データシート

製品名:	炭化珪素粉末 (SILICON CARBIDE POWDER)	ページ数:	6/8
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0057	安全データシート整理番号:	JP-JA/18.0

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性: 使用可能なデータはない。

化学的安定性

安定性: 通常の温度条件の下で安定。

危険有害反応可能性

危険有害な反応: 使用可能なデータはない。

避けるべき条件

避けるべき状態/物質: 使用可能なデータはない。

混触危険物質

不適合物質: 強酸化物質。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物: 熱劣化または燃焼により、酸化炭素及び他の毒性ガスまたは蒸気を放出することがある。

11. 有害性情報

毒物学的影響に関する情報

急性毒性 (経口): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

急性毒性 (経皮): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

急性毒性 (吸入): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

皮膚腐食性/刺激性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

呼吸器または皮膚感作性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

生殖細胞変異原性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

発がん性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

生殖毒性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

特定標的臓器毒性 (単回曝露): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

特定標的臓器毒性 (反復曝露): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

吸引性呼吸器有害性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

吸入した場合: 粉塵は、喉及び呼吸系を刺激して咳を起こすことがある。

皮膚への接触: 長期接触は、発赤、刺激及び乾燥皮膚を起こすことがある。

眼に入った場合: 目に粉塵が入ると、刺激を起こす。

経口摂取: 刺激し、倦怠感を起こすことがある。

特有の影響: 使用可能な情報はない。

安全データシート

製品名:	炭化珪素粉末 (SILICON CARBIDE POWDER)	ページ数:	7/8
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0057	安全データシート整理番号:	JP-JA/18.0

12. 環境影響情報

生態毒性

生態毒性: 製品は環境に危険有害性があるとされていない。

残留性・分解性

分解性: 製品の分解性は表明されていない。

生態蓄積性

生物濃縮性: 生物濃縮性に関する使用可能なデータはない。

土壤中の移動性

移動性: 使用可能なデータはない。

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT/vPvB: 本製品は、PBT (難分解性・生物蓄積性・毒性のある) または vPvB (極めて難分解性で高い生物蓄積性がある) 物質を含まない。

その他の有害影響

その他の有害影響: 未知

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。

汚染容器及び包装: 廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。

14. 輸送上の注意

製品は、危険物輸送に関する国際規制 (IMDG、IATA) で網羅されていない。

国連番号

UN 番号: -

品名

品名: -

国連分類

国連分類: -

容器等級

PG: -

海洋汚染物質

海洋汚染物質: -

環境有害物質、固体: -

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

特別な注意事項: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

バルク輸送: 該当しない。

安全データシート

製品名:	炭化珪素粉末 (SILICON CARBIDE POWDER)	ページ数:	8/8
最終改訂日:	2020-01-30	印刷日付:	2020-01-30
文書番号:	M0057	安全データシート整理 番号:	JP-JA/18.0

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

特別規定	労働安全衛生法: 炭化ケイ素
国内規制:	化審法 JIS Z 7252:2014. GHS に基づく化学物質等の分類方法. JIS Z 7253:2012. GHS に基づく化学品の危険有害性情報の 伝達方法 - ラベル, 作業場内の表示及び 安全データシート (SDS) 許容濃度等の勧告 (2018 年版)

16. その他の情報

使用者は、正しい作業手順について指示され、これらの指示書の内容に精通していなければならない。

以下の項目は、改定または新たな記述を含む。 : 1, 8.

(*)は、前バージョンからの変更を示す。

DHIによって認可。

Allan Vorup

安全データシートに使用した略語及び頭字語:	PBT = 難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質。 vPvB = 高残留性、高蓄積性を有する物質。
-----------------------	---

その他の情報:	GHSによる分類: 計算方法。
---------	--------------------

本データシートの情報は当社の最新のデータであり、本製品が規定された条件下で、かつ、パッケージおよび/または技術手引文書に指定された適用方法に従って使用されれば、信頼できるデータである。本製品を他の製品や他のプロセスと組み合わせて使用するなど、規定外の使用をした場合はその使用者が責任を負うものとする。

DHI-環境毒物学部によって制作された文書、DHI現住所: Agern Allé 5、DK-2970 Hørsholm、デンマーク。
HP : www.dhigroup.com.